

日暮里駅・西日暮里駅・三河島周辺地区バリアフリー基本構想
第2回策定協議会

議 事 要 旨

日時 : 平成23年 10月19日(水) 15:30~17:00

場所 : サンパール荒川 5階第5・6集会室

出席者 : 6頁参照

議事次第 :

- 1 開会
- 2 地区の現況・課題について
 - ① 手順について
 - ② 地区住民アンケート結果について
 - ③ 地区の現況・課題について
- 3 第1回住民部会の報告
 - ① 第1回住民部会について
 - ② 区民意見のまとめ
- 4 第1回事業者部会の報告
 - ① 区民意見に対する方針作成について
 - ② 事業者部会検討内容について
- 5 地区別基本構想のポイントについて
- 6 その他
 - ① 今後のスケジュールについて

配布資料 :

- ・次第
- ・資料

資料1 : 生活関連施設・生活関連経路の考え方について

資料2 : 地区住民アンケート調査結果

資料3 : 地区の課題・問題整理について

資料4 : 第1回住民部会検討結果

資料5 : 区民意見に対する方針について

資料6 : 地区別基本構想のポイントについて

参考資料1 : 重点整備地区の現況について

【議事要旨】

1 開会

- ・事務局より挨拶
- ・事務局より配布資料の確認
- ・会長より挨拶

2 地区の現況・課題について

- ・事務局より「資料1」「資料2」「資料3」を用いて日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区の現況・課題について説明

3 第1回住民部会の報告

- ・事務局より「資料4」を用いて第1回住民部会検討結果について説明
- ・橋本副会長より第3回住民部会検討結果について補足説明

<副会長>

- ・住民部会の中で、各班の発表を聞き、とりまとめを見守ってきた。
- ・事務局からの説明にもあったとおり、評価は決して低くなく、事業者側の頑張り、整備の進捗状況等がよく分かるワークショップだった。
- ・ただ、事務局からも「区としてのガイドラインの見直しの時期に来ているのではないか」との話があった通り、エレベーター1つとってもその通りだと思う。1つの駅の中に、スルー式で音声案内のあるエレベーター、スルー式だが音声案内のないエレベーターが混在しているなど、統一性に欠けている。また、案内表示や情報提供については、各事業者のマニュアルに則った音声案内やサイン計画がかなり進められている。ただし、表示の高さ・向き・角度・マーク等に統一性がないために、不慣れな方が情報を得るには時間がかかると感じた。基本的な条件が整った後で、統一性や整合性をどのように図っていくかということが、複合施設や駅での今後の課題であると感じた。

- ・質疑応答

<委員>

- ・エレベーターでは、地震等の場合にインターフォンで通報できるようになっている。しかし、聴覚障害者は使用することができない。閉じ込められた場合の対応方法を考えて頂きたい。押しボタンのようなものを考えて頂きたい。

<会長>

- ・東日本大震災等を通じて多くの課題が顕在化している。バリアフリーという視点から対応すべきであるのか、日常的な視点からの対応とすべきか難しい部分もある。聴覚障害者には、声で情報を発信できないという問題がある。特に非日常的な事態が生じた場合には、大きな問題につながる可能性がある。エレベーターのメーカーも含めて情報伝達の方法を検討する必要がある。エレベーターにはモニターが付いている。しかし、声が発せられなければなかなか情報が伝えられない。モニターに向けてバツを示すことで管

理者に伝えるというような統一性も必要である。基本構想の中で触れることは難しいが、今後検討していくことが必要だと感じている。

<委員>

- ・資料2のアンケート調査結果について、昨年度の調査の回収率はどの程度だったか。回答者の大部分が女性、高齢で占められており、区の人口構成を反映していない。調査結果の有効性についてどう考えるか。

<事務局>

- ・前年度の町屋駅・区役所周辺地区の検討の際の有効回答率は、20.2%で今回とほぼ同様である。アンケートにより不足する属性の利用者については、住民部会の意見で補完し対応していきたい。

<会長>

- ・アンケート調査は調査対象・内容で結果が大きく異なる。バリアフリーの場合は、年齢や障害の種別に応じた特徴的な意見が挙がる傾向がある。高齢者の回答が多いのが一般的であり、その結果女性の割合も高くなる傾向がある。また、行政が調査主体の場合、回収率は高くなる傾向がある。20%あれば問題ないだろう。

4 第1回事業者部会の報告

- ・事務局より「資料5」を用いて第1回事業者部会検討結果について説明

5 地区別基本構想のポイントについて

- ・事務局より「資料6」を用いて地区別基本構想のポイントについて説明

・質疑応答

<委員>

- ・資料6についての意見である。最近、日暮里駅周辺でも歩道のセミフラット化が進んでいるが、その場合、ノンステップバスとの段差が大きくなり、乗り降りがしづらくなる。どのように対応して頂けるのか。

<事務局>

- ・歩道のセミフラット化は、歩行者には良いが、車椅子利用者は苦勞をされていると思う。おそらく個別場所でスロープを付けるかたちの対処になるかと思うが、今後検討していきたいと考えている。

<会長>

- ・車両自体の改善の他、歩道のセミフラット化をうまくつなげるという課題も生じている。バリアフリーの問題は、一段階ずつ進めていく必要がある。継続的に意見を挙げていく仕組みを作ることが重要になる。

<委員>

- ・駅の切符の販売機が使用しにくい。以前にトラブルが生じた際に、呼び鈴を押したが、自分で呼び鈴を押して音声で伝えることが出来ないため、隣の方をお願いした。その後、駅職員に対して筆談で説明をした。音声でしか駅職員に伝えられないという問題への対応を教えてもらいたい。以前は小窓があった。まだまだバリアフリー化は進んでいない。

<会長>

- ・気づきの問題とその後の対応の問題とが存在している。我々健常者の場合、視覚障害者や肢体不自由者については、問題がある程度想定できる。しかし、聴覚障害者については、想定が難しく、トラブルが生じてみないと気付かない部分が多い。また、その後の対策で、日本人の傾向として技術、ハードで対応していく傾向がある。そのため、ソフト面での対応が遅れてしまう。今年、駅のホームドアがないために、3名もの視覚障害者が亡くなっている。日本のホームドアの設置率は非常に高い中で、こうした事故が生じている。何らかのソフト的な仕組みが必要である。各事業者の回答の中でも、駅職員の対応についても触れられている。今後は、色々な気づきの場面がある中で、ソフト面での対応も加えていってほしい。

<副会長>

- ・教育の場にいる人間として、障害者がどのような問題を抱え、どのような対処を望んでいるのかを考えられるような教育の必要性を感じた。心のバリアフリーを小学校から大学までの教育の中に入れていく仕組みも必要である。切符の販売機の問題も、周りの方が気づいて声かけをしてくれれば、駅職員の対応も早かっただろう。過度にいたわるのではなく、必要な時に声をかけられるような教育が必要だと感じた。また、この問題とは別に、各事業者へのお願いがある。自社の施設への意見については確認されていることと思う。しかし、住民部会のワークショップは6班で行っており、すべての箇所を統一的な視点で見られているわけではない。他の事業者に対する要望についても目を通して頂き、自社に置き換えて考えてほしい。

<委員>

- ・盲ろう者の介護をしているが、2人で同時に腕を組んで通れるような駅の改札がない。車椅子の方にも便利だと思う。駅職員による障害者手帳の確認と自動改札の通過が同時に出来ると良い。近隣に盲ろう者友の会がある浅草橋駅にはそのような改札がある。

<会長>

- ・車椅子の通行が可能な幅の広い改札は増えつつある。しかし、異なる料金体系の利用者が同時に通過できるものというのは難しいかもしれない。事務局でご意見として受けさせて頂く。

<会長>

- ・今後は、事務局で作業を進め、確認をしつつ、基本構想素案を作成していく。

<各委員>

- ・(各委員了解)

4 その他

- ・事務局より今後のスケジュールについて以下の通り説明
⇒次回の策定協議会は、12月を予定。日程調整中のため、日程が決まり次第、各委員に連絡する。
- ・本策定協議会の協議内容について議事録をHP上で公表する（各委員の名前も公表）旨を事務局より説明し、了解された。

以 上

日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区バリアフリー基本構想

第2回策定協議会 出欠状況一覧

委員名簿			出欠	
学識経験者		日本大学理工学部社会交通工学科 教授	藤井 敬宏	○
		首都大学東京健康福祉学部作業療法学科 准教授	橋本 美芽	○
		首都大学東京健康福祉学部作業療法学科 助教	石橋 裕	○
区 民	関係団体	荒川区身体障害者更生会	後藤 英一	○
		荒川区聴覚障害者協会	大石 泰延	代理
		荒川区視力障害者福祉協会	高橋 悦子	○
		荒川のぞみの会	大沼 弘子	○
		NPO 法人 荒川区高年者クラブ連合会	長谷川 敏男	○
		日暮里町会連合会会長		
		日暮里駅周辺地区交通バリアフリー事業 推進協議会委員	山田 幸雄	×
		荒川区商店街連合会副会長	利根川 昌弘	×
		荒川区子育て支援モニター	山田 麻里	○
		荒川やさしい街づくりの会	後藤 俊子	○
関係機関	国	国土交通省関東運輸局交通環境部消費者 行政・情報課長	井端 直行	○
	東京都	都市整備局都市基盤部交通企画課長	安部 文洋	代理
	台東区	都市づくり部地区整備課長	望月 昇	○
交通事業者	鉄道	東京都交通局建設工務部計画改良課長	坂口 淳一	○
		東日本旅客鉄道(株)東京支社企画室企画調 整課長	植松 繁	○
		東京地下鉄(株)鉄道本部鉄道統括部涉外・ 工事調整担当課長	安達 光成	○
		京成電鉄(株)鉄道本部計画管理部計画担当 課長	井上 賢一	○
	バス	東京都交通局自動車部事業改善担当課長	新山 富弥雄	×
施設管理者 道路・公園等	東京都	東京都建設局第六建設事務所補修課長	長尾 肇太	○
	荒川区	土木部土木管理課長	佐久間 勇一	○
		土木部道路課長	伊藤 勝弘	×
	土木部公園緑地課長	川原 宏一	○	
交通管理者	警視庁	荒川警察署交通課長	山本 忠吉	○

委 員 名 簿				出欠
執行機関	荒川区	総務企画部長	北川 嘉昭	×
		管理部長	佐藤 安夫	○
		福祉部長	和気 剛	代理
		都市整備部長	倉門 彰	○
		土木部長	緒方 清	○
事務局	荒川区	都市整備担当部長都市計画課長事務取扱	松土 民雄	○
		都市整備部都市計画課施設計画担当係長	田中 仁一	○
		都市整備部都市計画課施設計画担当	長野 博一	○
		都市整備部都市計画課施設計画担当	柳沢 泰隆	○